富田地区活性化プロジェクト

ー　都市拠点にふさわしい まちづくりに向けて　ー



目　　次

１．背景・目的・・・・・・・・・・・・・・　１

２．プロジェクトの位置づけ・・・・・・・・　１

３．基本方針・・・・・・・・・・・・・・・　２

４．検討にあたっての条件・・・・・・・・・　４

５．取組の方向性・・・・・・・・・・・・・　５

６．活性化プロジェクト・・・・・・・・・・　７

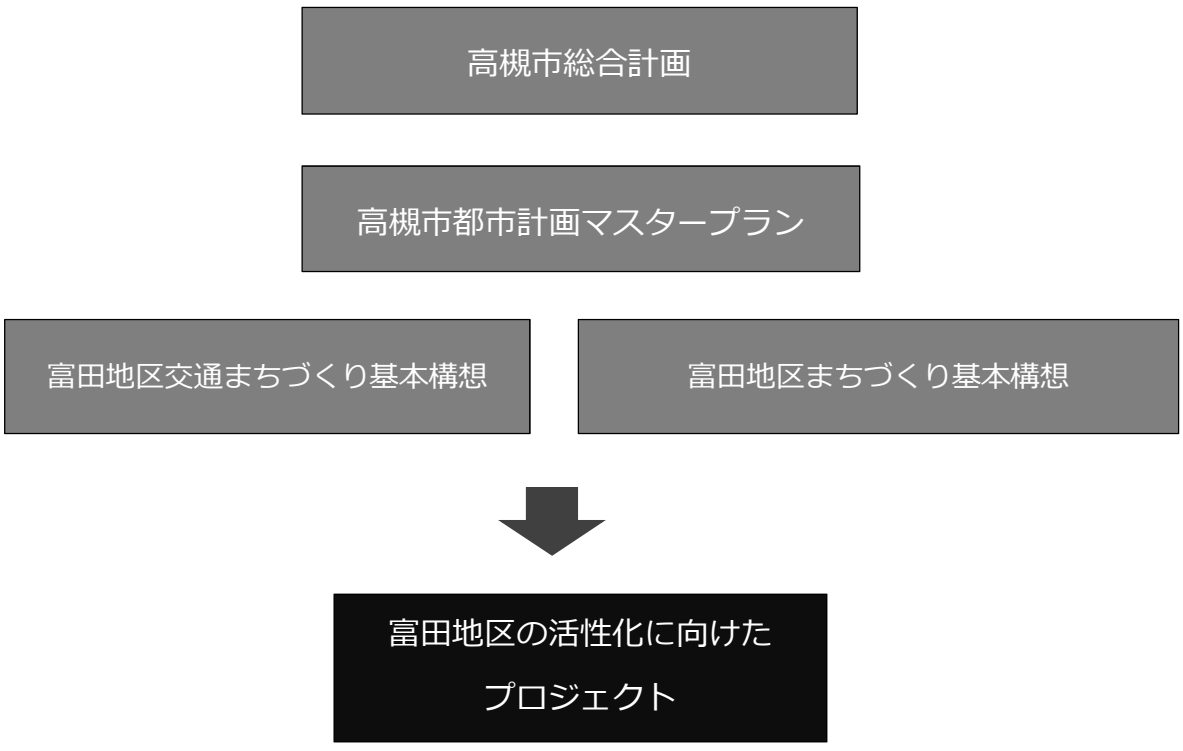
７．今後の進め方・・・・・・・・・・・・・１２

1．背景・目的

- 富田地区は、都市機能が集積する西部地域の都市拠点であり、特にＪＲ摂津富田駅及び阪急富田駅周辺については、にぎわいや活力を支える多様な都市機能が高度に集積するエリアである。
- 富田地区の長年の課題は、阪急の踏切による交通渋滞やＪＲ及び阪急の踏切による歩行者等の安全性確保などの交通問題であり、抜本的な解決策となりうる鉄道の立体交差化等の検討を行っているが、事業の実現には長期間を要する。
- 一方で、本市ではこれまでに都市計画道路の整備をはじめ、老朽化した市営富寿栄住宅の建て替えを進めるとともに、老朽化した公共施設について複合化の検討を行うなど、公共施設の再構築を軸としたまちづくりに取り組んでいるところである。
- このような中で、富田地区においては、豊富な歴史・文化を活かした本市西部の都市拠点としてふさわしい、にぎわいあふれるまちづくりを進めるため、改めて地区全体を俯瞰した公共施設の再編・最適化や市有地の利活用を含め、富田地区の活性化などに資する短期的（概ね５～10 年）なプロジェクト（事業）について具体的な検討を行う。

2．プロジェクトの位置づけ

本プロジェクトは、関連する行政計画を踏まえたプロジェクトとする。

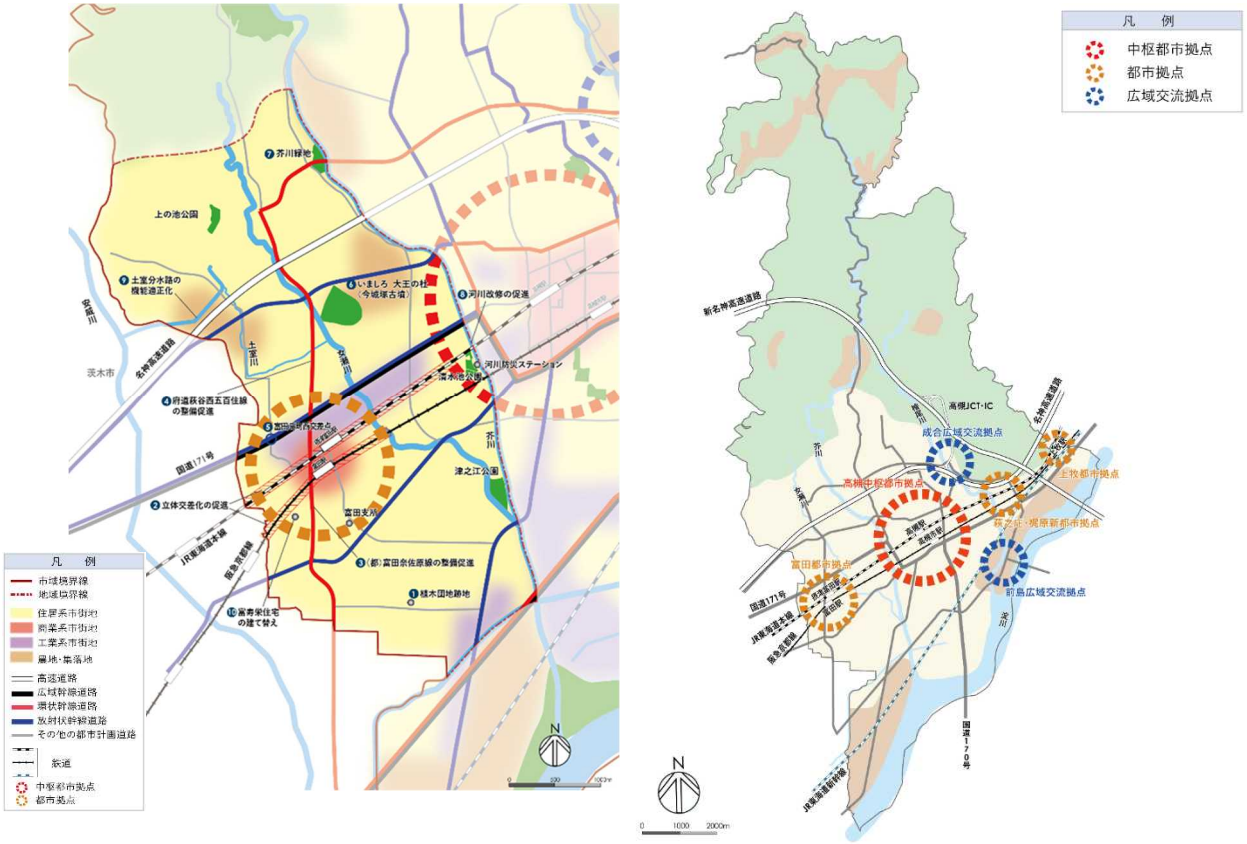


3．基本方針

富田地区における計画・構想で定めた基本方針に沿ったプロジェクトとする。

都市計画マスタープラン
■富田都市拠点 〇老朽化が進む公共施設の再構築に取り組むとともに、都市機能の集積を誘導するなど、**西部の都市拠点にふさわしいまち**を形成します。 〇都市基盤の強化を促進し、**安全性・快適性の向上**を図ります。 〇造り酒屋や神社仏閣など、貴重な**歴史・文化資産を活用**し、**にぎわいと活力**のある拠点を形成します。

市街地整備の方針図（都市計画マスタープラン抜粋）



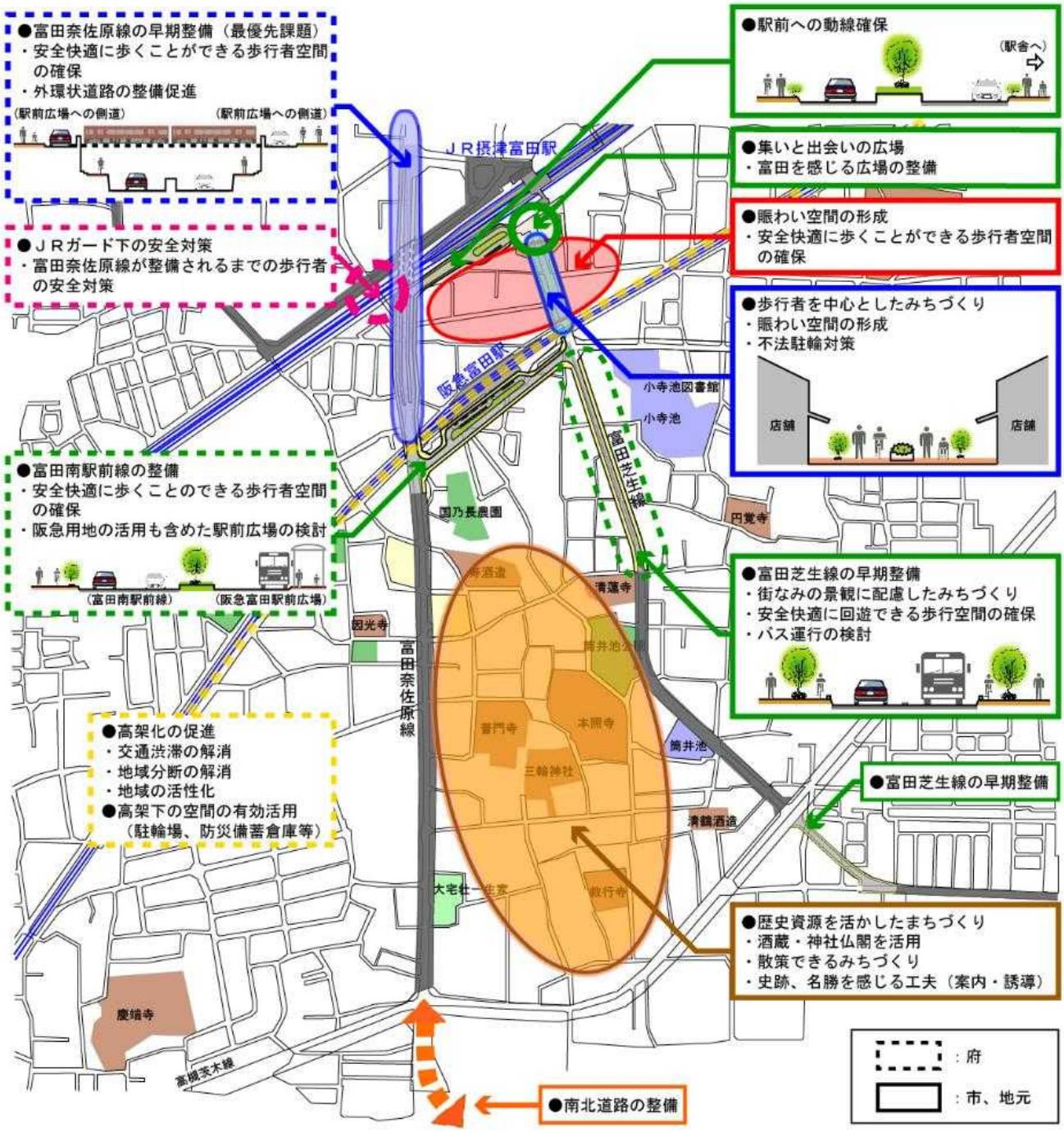
市街地整備の方針

- 老朽化が進む公共施設の再構築等に取り組むとともに、都市機能の集積を誘導するなど、西部の都市拠点にふさわしいまちを形成します。
- 神社仏閣や造り酒屋など歴史的な趣きを感じることのできる地区では、これらの地域資源と調和した良好な景観形成を誘導します。
- 道路と鉄道の立体交差化にあわせた周辺市街地の整備について検討します。
- 富寿栄住宅の建て替えにより、良好な住環境を確保します。
- 鉄道駅及びその周辺や福祉施設が集積する地区においては、バリアフリー化に向けた整備を推進します。

富田地区交通まちづくり基本構想

■富田都市拠点
　〇誰もが**安全快適**に歩けるみちづくり
　〇**歴史資源を活かした**まちづくり
　〇駅周辺の**賑わいと活力**のあるまちづくり

イメージ図（富田地区交通まちづくり基本構想抜粋）



富田地区まちづくり基本構想

■まちづくりのコンセプト【多世代が共に育む まちづくり】
〇まちづくりの基本方針
1．【**地域活動**】地域のつながりを深め、多世代交流・コミュニティ活動を活性化する
2．【**地域資源・にぎわい**】住民主体のにぎわいづくりを育み、地区内外へと広げていく
3．【**学び・子育て**】世代を通じて学び、地域ぐるみで次世代の担い手を育てる
4．【**安全・安心**】防災力・防犯力を高め、誰もが安心して暮らせる地域をつくる



1．地域活動
- 公共施設の再構築等により、多世代のつながり、住民主体の活動を活性化します。
- 歴史･文化を次世代に継承し、地域への愛着や興味関心を高めます。
- 高齢者や障がい者などすべての人々が、生き生きと暮らし続けられるよう、地域の支え合いを高めます。

2．地域資源・にぎわい
- 地域全体の活動やにぎわいを活性化し、新しい文化を育みます。
- 地域資源や文化活動を継承し、まちのにぎわいづくりを広げます。
- 歩いて巡りやすい、回遊性のある地域をつくります。

3．学び・子育て
- 安心して子育てができるつながりを深め、地域全体の子育て力を高めます。
- 地域ぐるみの学びを推進し、子どもの豊かな心を育みます。
- 多世代がつながり、生涯にわたって学び合える環境をつくります。

4．安全・安心
- 公共施設や公共空間を核とした、地域の防災機能を充実します。
- 自分たちで守る、自主防災の意識を高める取組を推進します。
- 地域ぐるみで見守りやすい環境や仕組みにより、防犯力を高めます。

4．検討にあたっての条件

本プロジェクトは、短期的な取組を目的としているため、以下の条件を設定した。

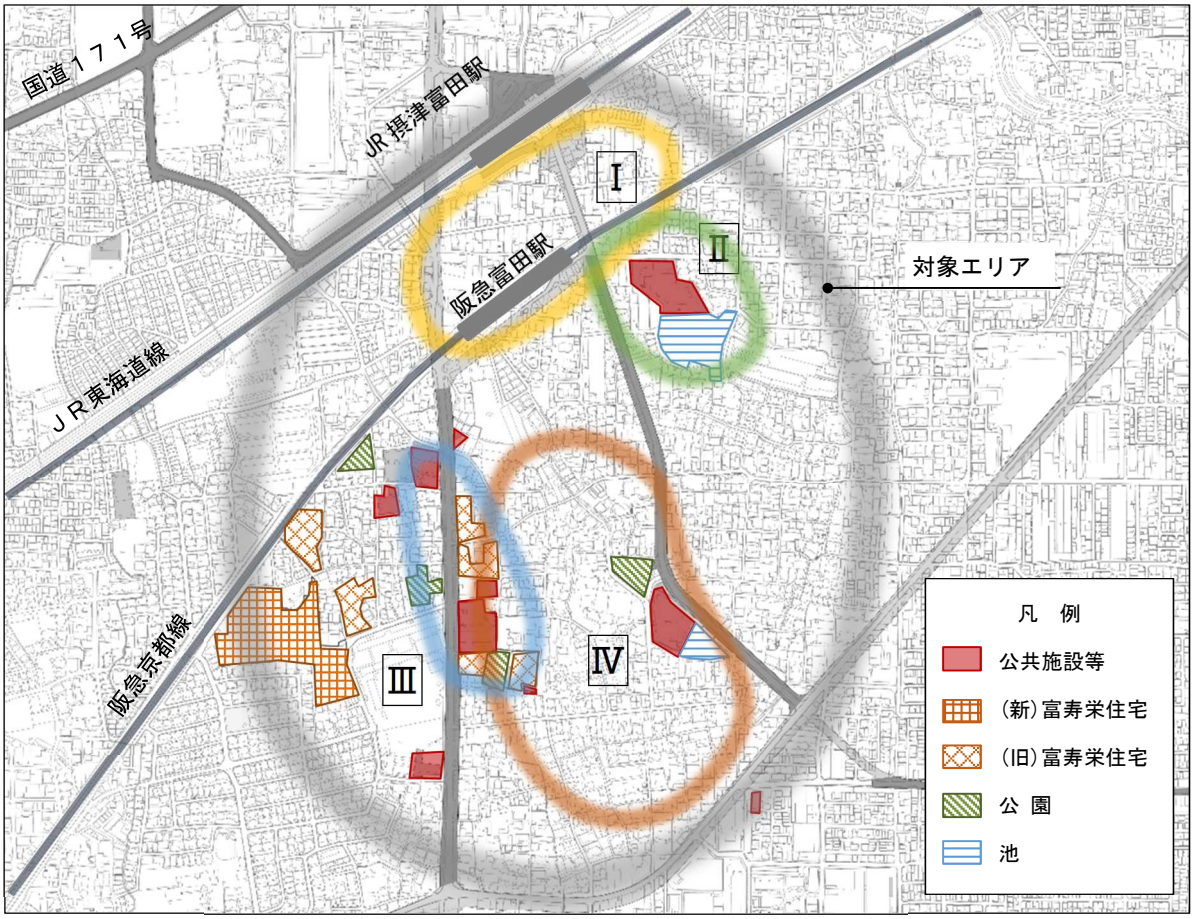
条件１　鉄道の立体交差化や都市計画道路事業に影響を与えないこと

条件２　基本的に短期的（概ね５～１０年）に取り組む事業とする。

5．取組の方向性

富田地区におけるまちづくりに関する計画・構想（高槻市都市計画マスタープラン、富田地区交通まちづくり基本構想、富田地区まちづくり基本構想）で定めた基本方針を踏まえ、対象エリアを下図のとおりとする。

（1）ゾーニング図



（2）取組の方向性

Ⅰ　駅前・駅間周辺ゾーン

- ＪＲと阪急の駅が近接し利便性が高く、特に朝夕の時間帯は歩行者と車両が混在するなど、安全・安心な移動・滞在に大きな課題がある状況にある。
- これらの課題解決に向けては、鉄道の立体交差化事業と周辺道路の整備に合わせて取り組む必要があるため、関係機関と連携したまちづくりに中長期的に取り組むものとする。

Ⅱ　小寺池図書館周辺ゾーン

- 落ち着いた雰囲気で利用できる図書館を中心に、隣接する親水池や散策路等まちなかの貴重な緑の空間として、地域住民に親しまれている。
- 小寺池図書館において、自習室の設置や、親子で楽しめるお話コーナーの拡充等、利用者のニーズに合わせた施設整備や快適に利用できる環境整備など利便性向上を図る。

Ⅲ　新公共施設周辺ゾーン

- 富田ふれあい文化センター、富田青少年交流センター、富田老人福祉センターなど地域の多様な交流の場や地域住民の生活を支える施設が集積している地区である。
- これらの３施設は、老朽化に伴う施設の更新が必要となっていることから、各種機能の集約化・効率化を図り、新たな複合施設として更新・整備を行う。
- 施設の複合化にあたっては、多世代交流や地域活動の活性化、まちのにぎわいづくりにつながる拠点施設として、既存施設の機能にくわえ、多世代交流機能を付加するなど地域住民を中心に多様な交流が生まれる場を創出する。
- 新公共施設は、当該施設がある現位置に建て替えすることで、公園や市営住宅跡地などの市有地を活用した広場空間を確保する。
- この広場空間については、隣接する神社仏閣など広がりのある緑と連携した憩いや防災などの空間を整備し、新たな公共施設と調和した誰もが多目的に利用できる場を創出する。



＜新たな公共施設の機能構成イメージ＞

（富田地区まちづくり基本構想より）

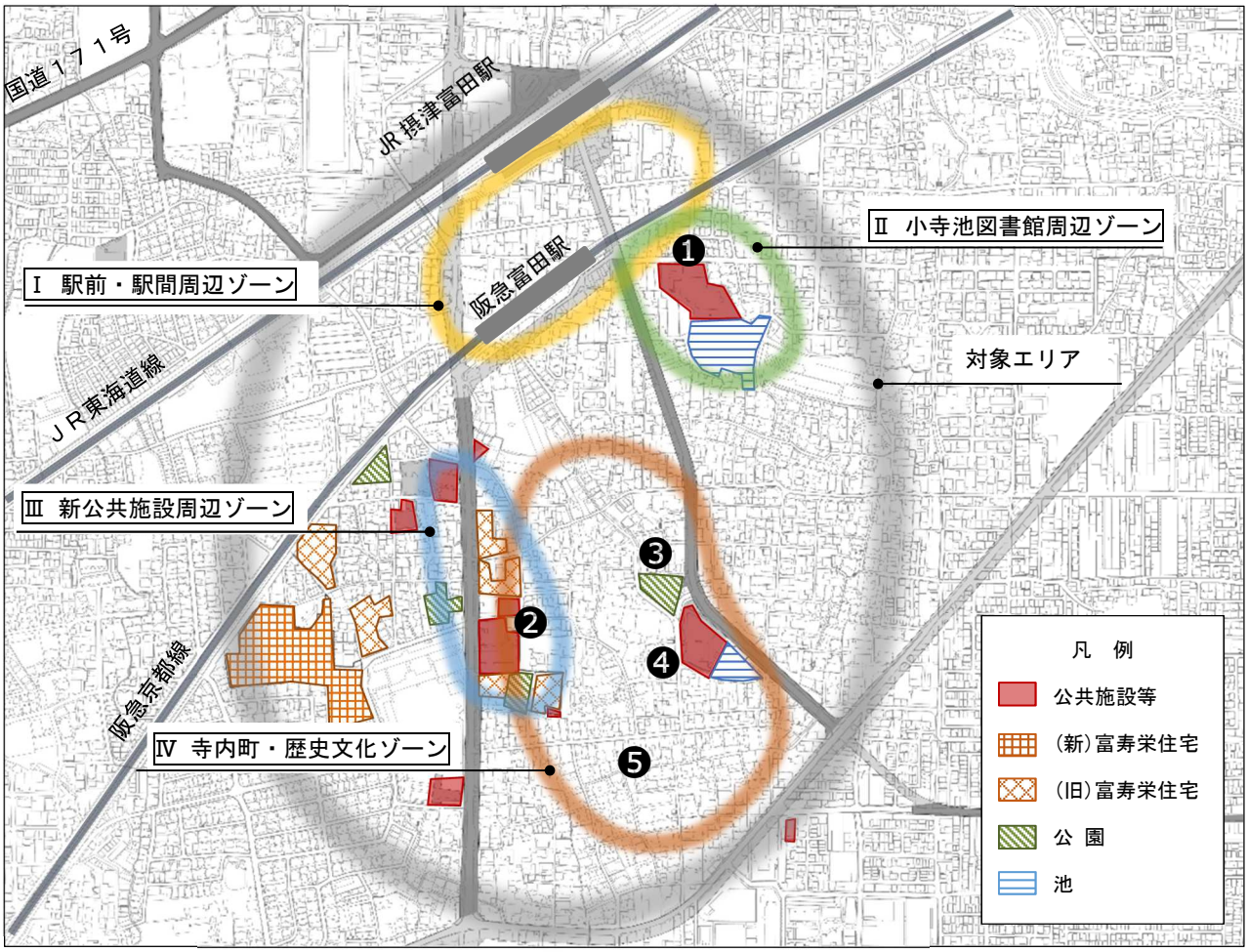
Ⅳ　寺内町・歴史文化ゾーン

- 三輪神社や普門寺、教行寺、本照寺など、古くから数多くの神社仏閣が残る地区であり、将来にわたり、地域の歴史や文化を保存・継承していくことが重要である。
- 神社仏閣や酒蔵など歴史的なまちなみ景観が残るエリアにおいて、地域等と連携しながら、富田の歴史に触れ、楽しむことができるまちなみを整備する。
- 富田支所、富田コミュニティセンター、富田公民館については、築年数が経過し老朽化が進行していることから、建て替えを行う。建て替えにあたっては、富田支所の業務の継続性が重要であるため、周辺地に建て替え移転するものとし、地域活動に必要な機能も合わせた一体的な施設として整備する。
- 跡地の利活用については、富田地区にはない公共施設として、伝統芸能にも親しめる文化ホールや富田の歴史資料館など、本市の新たな歴史文化の拠点となる施設の整備を検討し、品格と魅力・活力のあるまちづくりに取り組む。

（３）　余剰地の利活用

富寿栄住宅跡地や公共施設の再編・最適化により生じる余剰地については、富田地区のにぎわいや活性化に寄与する取組や、新たな公共施設との相乗効果が期待できる活用を検討するとともに、民間事業者による事業用地としての貸出や売却も含めた検討を行う。

6．活性化プロジェクト



Ⅰ　駅前・駅間周辺ゾーン

鉄道の立体交差化（ＪＲ・阪急電鉄）

都市計画道路の整備

駅前広場の整備（ロータリー等）　　など

中長期事業

Ⅱ　小寺池図書館周辺ゾーン

Project-❶　小寺池図書館のリニューアル

Ⅲ　新公共施設周辺ゾーン

Project-❷　新公共施設の整備（複合化）

Ⅳ　寺内町・歴史文化ゾーン

Project-❸　富田支所・富田コミュニティセンター・富田公民館の建て替え

Project-❹　歴史文化施設（ホール・資料館）の整備

Project-❺　歴史的なまちなみの保全・創出

短期事業

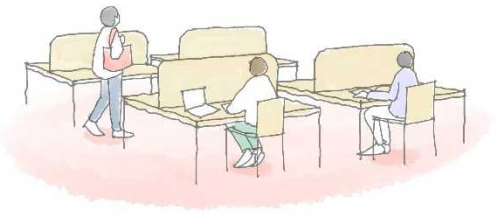
（概ね 5～10 年）

Project-❶　小寺池図書館のリニューアル

○ 事業概要

小寺池図書館（昭和６２年設置）は富田地域の文化の拠点として、近隣住民をはじめ多くの市民に親しまれているが、施設設置後約４０年が経過する中で図書館利用のニーズが変化してきている。近年では、子育て世代の利便性向上や休憩・交流など様々な利用者のニーズが増加しており、子育て関連機能の充実、自習室や休憩スペースの確保など、快適に利用できる施設としてリニューアルすることで、利用者の増加と利便性向上を図る。







○ 取組内容

- 自習室の設置、親子のお話コーナーの拡充
- テラスエリアの改修
- トイレや照明設備等の更新

○ 期待される効果

- 自習室の設置により青少年が利用しやすい学習の場を創出
- 親子のお話コーナーの拡充や児童書の充実など、子ども関連の多様なサービスを拡充することで子育て世代を中心に利用者の便益が向上
- テラスエリアの改修により心地よい空間で快適に過ごせる環境が向上
- トイレ・照明設備等の更新など、快適に利用できる環境を整備することで利用者の利便性が向上

Project-❷　新公共施設の整備（複合化）

○ 事業概要

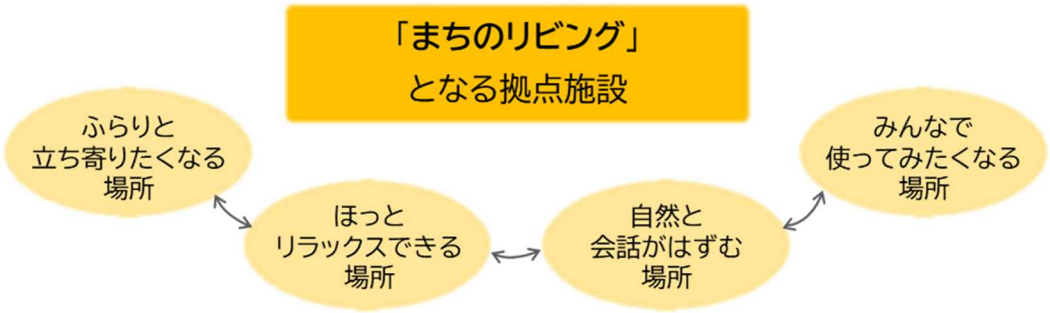
富田地区において地域住民の生活を支え、多様な交流の場となってきた富田ふれあい文化センターや富田青少年交流センター、富田老人福祉センターの各種機能の集約化・効率化を図るとともに、多様な交流を育むまちづくり拠点として更新・整備することで、地域住民を中心に様々な交流が生まれる場を創出する。

また、富田ふれあい文化センター及び富田青少年交流センターがある現位置に建て替えすることで、公園や市営住宅跡地を活用した広場を確保するとともに、隣接する神社仏閣など広がりのある緑と連携した憩いや防災などの空間を整備し、新たな公共施設と調和した誰もが多目的に利用できる場を創出する。



○ 複合施設整備の考え方

新たな複合施設は、個別の目的のためだけに訪れるのではなく、ふらりと立ち寄りたくなる場所・ほっとリラックスできる場所・自然と会話がはずむ場所・みんなで使ってみたくなる場所といった『「まちのリビング」となる拠点施設』を目指す。



○ 期待される効果

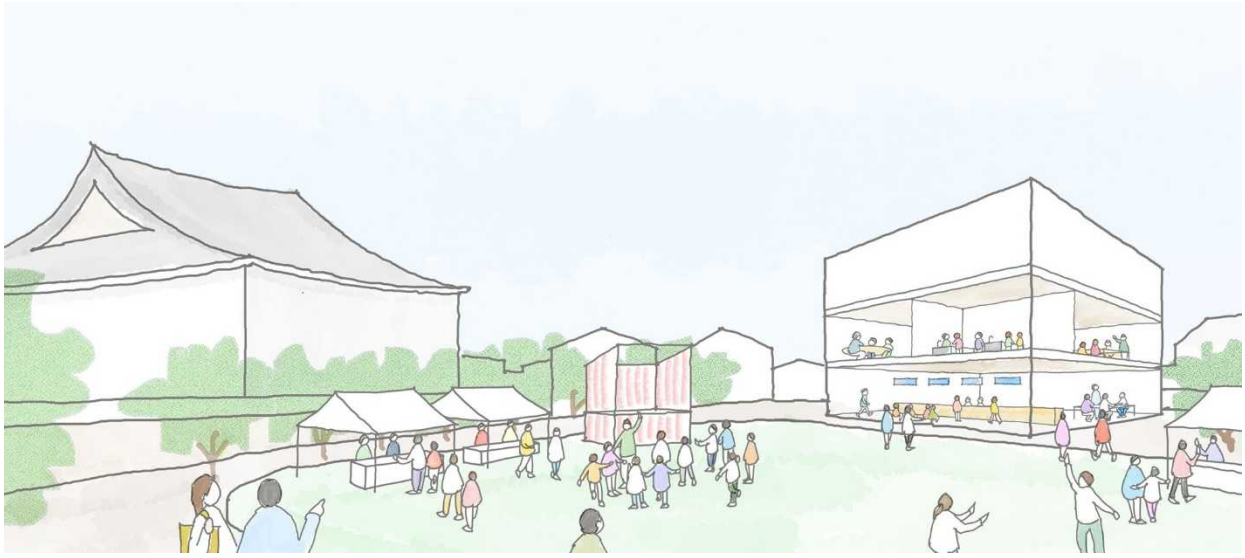
- 多様な機能の複合化により利用者の便益が向上
- 高齢者から子どもまで多様な世代の交流の創出と地域の活性化
- 地域住民の交流促進や生活を支える施設として一体的に運営することにより、更なる市民サービスの向上と運営の効率が向上

Project-❸　富田支所・富田コミュニティセンター・富田公民館の建て替え

○ 事業概要

富田支所（昭和５３年設置）は、本市西部地域における身近な行政機関として、各種証明書の発行や住民異動届の受付、健康保険や国民年金事務など、日常生活に直結する各種行政サービスを提供するとともに、地域における相談窓口としての機能を担うなど、地域住民の暮らしを支えてきた重要な行政施設となっています。また、富田コミュニティセンター及び富田公民館においては、地域コミュニティの形成や地域住民の文化・交流活動の拠点、社会教育の推進に資する施設として利用されています。

このような中、当該施設は設置後約５０年が経過し施設の老朽化が進行しているため、利用状況も踏まえながら、富田支所・富田コミュニティセンター・富田公民館の建て替えを行う。建て替えにあたっては、富田支所の業務の継続性が重要であるため、隣接する筒井池公園の一部を利用して建て替え移転するものとし、地域コミュニティの活動や地域住民の文化・交流活動の拠点として必要な機能を合わせた一体的な施設として整備する。



○ 取組内容

- 富田支所・富田コミュニティセンター・富田公民館の建て替え
- 施設と一体的に利用できる広場の整備

○ 期待される効果

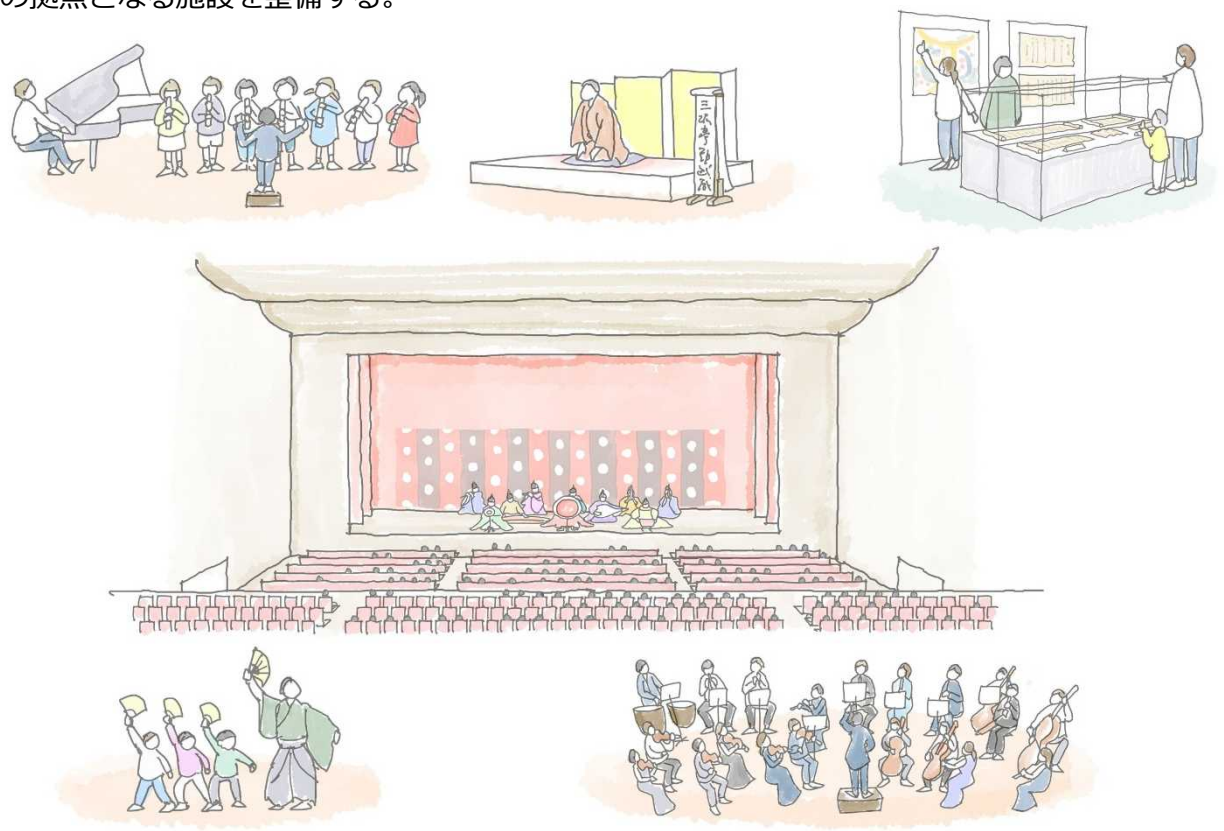
- 富田支所が担う行政サービス業務の継続性の確保
- 地域活動拠点の整備による地域コミュニティの更なる活性化

Project-❹　歴史文化施設（ホール・資料館）の整備

○ 事業概要

富田地区は古くから三輪神社や普門寺、教行寺、本照寺など数多くの神社仏閣を核に寺内町が形成され、江戸時代初期には酒づくりが盛んになり商人・町人のまちとしてさらに繁栄するなど、歴史・伝統・文化が育まれてきた地域である。近年では、本照寺を舞台とした寄席や音楽演奏会が行われるなど、富田のまちを形成してきた中心的な存在である神社仏閣と市民生活は今も密接に関わっている。

これらの富田地区の歴史を身近に感じながら、伝統芸能の歴史的・文化的価値を将来にわたって守り、継承・発展させていくとともに、市民が歴史と文化・芸能活動に触れ親しむ機会を提供するため、富田支所建て替え後、伝統芸能にも親しめる文化ホールや歴史資料館など、本市の新たな歴史文化の拠点となる施設を整備する。



○ 取組内容

- 富田の歴史資料展示施設の整備
- 伝統芸能や現代演劇など幅広い舞台芸術に利用可能な多目的なホールの整備

○ 期待される効果

- 富田の歴史文化の保存・継承と情報発信による交流人口の増加
- 富田のまちなみ景観の再生と歴史まちづくりの機運醸成
- 市民が日本の伝統芸能に親しみ、身近に触れ合うことができる場の創出

Project-❺　歴史的なまちなみの保全・創出

○ 事業概要

富田地区では古くから三輪神社や普門寺、教行寺、本照寺など数多くの神社仏閣が集中して存在し、寺内町としてまちが形成されてきたが、現代においても、神社仏閣や酒蔵など当時の雰囲気を残すまちなみや建築物が存在している。これらの富田地区を形成してきた歴史的景観を維持・保全するとともに、まちなみ環境の保全に関する活動支援や周辺回遊ルートの舗装の美装化等、富田の歴史的なまちなみの保全・創出に取り組む。



○ 取組内容

- 公共施設の建て替え等の際には周辺環境と調和し景観に配慮した施設整備
- 周辺回遊ルートの舗装の美装化など
- 住宅建て替えや地域活動など、まちなみ環境の保全・創出に対する支援など

○ 期待される効果

- 富田地区の歴史的なまちなみ景観の保全と創出
- 地域住民のシビックプライドの醸成
- 地域資源を活用したイベント等の取組みによる地域活動の活性化
- 幅広い情報発信による交流人口の増加

7．今後の進め方

富田地区の更なる活性化に向け、関係部署が相互に連携・調整しながらプロジェクト（事業）を推進し、豊富な歴史・文化などを最大限に活かした、本市西部の都市拠点にふさわしい、にぎわいあふれるまちづくりに取り組む。

発　行　　令和８年３月
高槻市 都市創造部 都市づくり推進課
〒５６９－００６７
高槻市桃園町２－１
TEL ０７２－６７４－７５５２